

青春の殺人者

監督 長谷川和彦

35mm
フィルム上映

大地の子守歌

監督 増村保造

35mm
フィルム上映

絵の中のぼくの村

監督 東陽一

デビュー40周年記念オールナイト

俳優 原田美枝子 “魂こがして”

たましい

日本の名監督に愛された原田美枝子出演の名作をオールナイト一挙上映！

平成二十六年 八月二十三日 土曜

深夜二十三時〇〇分より

新潟・市民映画館 シネ・ウインド

映画に生きて、生かされて

俳優・原田美枝子。1974年、弱冠15歳にしてスクリーンデビューを飾って以来、黒澤明、深作欣二、山田洋次、藤田敏八、神代辰巳といった日本映画界を代表する名匠達と共に疾走してきた彼女のスクリーンデビュー40周年を記念して、主演作品の中から珠玉の3作品をオールナイト一挙上映!

青春の殺人者



全てから逃げるため、青年はナイフを手にとった

順(水谷豊)はケイ子(原田美枝子)と共に親から与えられたスナックを営んでいる。ある日、父親に取り上げられた車を取り返しに実家に向かうが、それはケイ子と別れさせようと順をおびき寄せるための罠だった…。1974年、千葉県で実際に起きた市原両親殺害事件を題材にした中上健次の短編小説「蛇淫」を、後に「太陽を盗んだ男」で日本映画の金字塔を打ち立てる長谷川和彦が映画化した衝撃の青春映画。行き場のない若者の憤りを事実に演じ切った水谷豊と原田美枝子の名演、陰惨な画面の空気をかき消す爽快なゴダイゴの楽曲など、全てが脳裏に深く刻印されること必至。1976年度キネマ旬報ベスト・テン第1位。

監督：長谷川和彦 脚本：田村孟 原作：中上健次 音楽：ゴダイゴ
共演：水谷豊 市原悦子 内田良平 白川和子 江藤潤 桃井かおり 地井武男

1976年／1時間56分／製作：今村プロダクション・綜映社・ATG／配給：東宝 35mmフィルム上映

23:00
↓
1:00

大地の子守歌



もっと激しく! もっと悲しく! もっと強く!

四国の山奥で祖母とふたりで暮らしていた少女りん(原田美枝子)。13歳のとき、祖母が死に、身寄りのないりんは売春島に売られてしまう。やがて初潮を迎えたりんは娼婦として客をとられることになる…。残酷な運命を背負いながらも耐え生き続ける少女の壮絶な生き様を描いた涙なしでは観ることのできない感動巨編。監督はモダンな作風と技法で戦後日本映画界に新風を送り込んだ鬼才・増村保造。撮影当時僅か16歳にして挑んだ本作での迫真の演技が評価され、その年の主演女優賞を総なめにし、俳優・原田美枝子を誕生させた記念碑的作品。1976年度キネマ旬報ベスト・テン第3位。

監督：増村保造 脚本：白坂依志夫／増村保造 原作：素九鬼子 製作：藤井浩明／木村元保
共演：佐藤祐介 賀原夏子 木村元 梶芽衣子 岡田英次 田中絹代

1976年／1時間51分／製作：行動社・木村プロ／配給：角川書店 35mmフィルム上映

1:20
↓
3:20

絵の中のぼくの村



二人はふたご。絵の好きなふたご。

双子の小学生の征三と征彦は学校では問題児だが、いつも明るく二人で遊んでケンカばかりしている。ある日、二人の前にセンジという浮浪少年が現れ、不思議な世界を垣間見せる…。双子の絵本作家で知られる田島征三が人生で最も楽しかったと語る高知県の田舎で過ごした少年時代の夏の思い出を綴った自伝的エッセイを映画化した東陽一監督作品。美しい自然が紡ぎだすノスタルジックな寓話が夏の終わりを心地よく振り返らせてくれる珠玉の名作。第46回ベルリン国際映画祭・銀熊賞を受賞し国際的な評価を獲得した。1996年度キネマ旬報ベスト・テン第5位。

監督：東陽一 脚本：東陽一／中島丈博 原作：田島征三 音楽：カテリーナ古楽合奏団
共演：松山慶吾 松山翔吾 小松方正 岩崎加根子 長塚京三

1996年／1時間52分／製作・配給：シグロ

3:40
↓
5:40

>> Profile

原田美枝子

Mieko Harada

1958年、東京生まれ。74年、15歳で「恋は緑の風の中」の主演に抜擢されデビューを果たす。
76年「大地の子守歌」「青春の殺人者」において主演女優賞を総なめにし、若くして注目の的となる。
80年の主演作「ミスター・ミセス・ミス・ロンリー」(神代辰巳監督)では「刹那」名義で脚本も手掛けるなど、マルチな才能を発揮させる。
85年「乱」、86年「火宅の人」等、黒澤明や深作欣二といった日本映画界を代表する巨匠の作品において大役に抜擢される。
子育てを経て挑んだ96年「絵の中のぼくの村」、97年「愛を乞う人」(平山秀幸監督)では母親という新たな役柄に挑戦し、数多くの映画賞を受賞、俳優としての新境地を築く。
2014年主演最新作「ぼくたちの家族」(石井裕也監督)も話題を呼び、デビュー40周年を迎える現在も第一線で活躍中である。

VHSやDVD等で漁るように映画を観ていたころ、70年代の日本映画の作家主義に強い衝撃を受けると同時に原田美枝子さんの美貌と瑞々しい演技に魅了された。「いつか、フィルムで観たい…。」シネ・ウインドで映写のアルバイトをするようになり、その想いは強くなる一方でした。今年(2014年)は原田美枝子さんのスクリーンデビュー40周年。これはもう、祝福するしかないだろう! シネ・ウインド他、多くの方々の協力を得て「俳優・原田美枝子オールナイト上映会」を敢行します。日本映画界が誇る名監督たちのミューズ原田美枝子主演の珠玉の3作品。千載一遇の機会をぜひお見逃しなく! (新潟大学映画倶楽部・田川侑弥)

デビュー40周年記念オールナイト 俳優 原田美枝子 魂こがして、

平成26年8月23日(土) 23:00上映開始(開場22:30)

会場:新潟・市民映画館 シネ・ウインド

前売:学生2,500円/シネ・ウインド会員2,500円/一般3,000円(当日は500円増)

シネ・ウインドにて絶賛前売中!

※オールナイト上映のため、18歳未満の方はご入場できません。 ※駐車場サービスはございません。

企画協力:シネ・ウインドシアター班/中村賢作(Project DOMO) 宣伝美術:芳賀 誠



新潟・市民映画館 シネ・ウインド
万代シティ第2駐車場ビル 1F
☎025-243-5530
http://www.cinewind.com